



カビ・害虫対策



夏だ！雨だ！湿気の季節だ！

これからのシーズンは高くなり続ける**温度**のみならず、**湿気**についても気をつけておかないとすぐに**カビ**や**害虫**がムンムンし始めます。今回の学芸通信では、**カビや害虫を発生させないための温湿度管理**を博物館資料の保存のプロ（自称）がご紹介♪

【はじめに】温度と湿度の関係

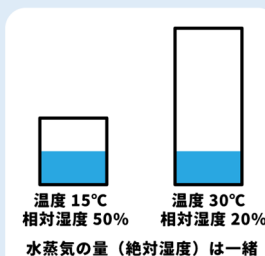
空気中に含むことができる水蒸気の量は、温度によって変わります。暖かい空気は多くの水分を含むことができますが、冷たい空気には少ししか含むことができません。

重要ポイント

●温度が**上がる**→相対湿度（RH%）は**下がる**。

●温度が**下がる**→相対湿度（RH%）は**上がる**。

※どちらも空気中にある水蒸気の量（絶対湿度）は変わらない。



そして大切なポイントとして、**虫やカビは温度が 20°C～32°C、かつ、相対湿度が 60%以上だと活発**になります。つまり、この温度・相対湿度のどちらかをこの状態にしなければよいのです。

カビ・害虫対策 実践編



★ 湿度を 60%未満にしよう！

カビや害虫を発生させない、単純にして明快だけど実際にやると意外と大変な対策です。一般のご家庭にあるエアコンの除湿機能でもヨシ、逸般の誤家庭にある業務用除湿機でもヨシ！ ポイントは、**60%以下をキープすること**。ただし相対湿度 40%台になると、こんどは紙などが劣化しやすくなるので下げすぎもよくありません。お肌も乾燥してしまいます。

★ こまめに掃除しよう！

カビや害虫はほんの少しのホコリでも栄養にしまいます。窓のサッシなどにホコリがたまっていると、結露した水分とあわせてカビや害虫にとってはパラダイスに。手垢などからも**カビ**は生えるので、ガラス拭きも大切です！ **博物館・美術館などでガラスに触っちゃいけない理由の一つでもあります。**

温湿度管理で一番お手軽・簡単・確実なのはエアコンでしょうかね。ただし、エアコンの除湿機能の多くは室内から吸引した高湿の空気を室外機で冷やし、結露させる（相対湿度 100%を超えさせる）ことで水分を減らす方法のため、室内の空気がすでに冷たかったり外気によって室外機が暖められていると効果が減少したりします。なので一番のおすすめは、一度暖房を入れて空気を温め空気体積当たりに吸収できる水分量を増やしたうえでエアコンに吸わせ、冷却することで空気中から水分を絞り出し、低温になった空気を室内に戻す方法となります。IoT 機器を持っていて家に居なくてもエアコン操作できる人はぜひ試してみてください。それはそれとして文字数がたりない



第2弾！

学芸員おすすめ BOOK ご紹介



今年も本格的な夏がやってきます！適切に冷房を使いつつ、涼しい部屋の中で快適に過ごす時間をつくりたいものですね。そんなおうち時間のお供に、今回は第2弾として、学芸スタッフがおすすめする本（マンガ）をご紹介します♪



「鍋に弾丸を受けながら」

青木 潤太朗（原作），森山 慎（作画）
KADOKAWA

学芸員
Y

あらすじ

治安の悪い場所の料理は美味しい——！？50000 点の美味を求めて美少女(?)が世界の危険地帯に赴き、現地の怪しくも魅惑的な料理の数々を喰らう！ノンフィクション&カオス&ハードグルメレポートコミック！（公式を抜粋・転載）



▲公式 X

海外の「治安が悪い場所」とは書いてあるが、紹介されるのは現地の日常に即した食事であり、異文化のディープなところを楽しめる一冊。原作者が釣り人でもありそうした話題も多いため、読んでいると釣り好きの人は海外でも釣りがしたくなる……かも？



「夢の雫、黄金の鳥籠」

篠原千絵（著）
小学館

学芸員
I

あらすじ

舞台は16世紀初頭の大帝国・オスマントルコ。奴隷として連れてこられた少女アレクサンドラはギリシャ商人を名乗る青年と出会い、彼の元で教育を受ける。その後、彼に連れられた場所はなんとオスマン帝国の中核イスタンブル。ヒュッレムと名を変えた彼女が献上されたのは、皇帝スレイマン1世だった…。(公式を抜粋・転載)



▲公式 HP

オスマン帝国の最盛期を築いたスレイマン1世とその寵妃ヒュッレムのラブロマンス…！と思いきやほぼ政争物語です。とにかく絵が美しく、オスマン帝国時代のきらびやかな衣装もステキ。リトルワールドでも体験できる衣装もあるかも…？



「天幕のジャードゥーガル」

トマトスープ（著）
秋田書店

学芸員
G

あらすじ

13 世紀、地上最強の大帝国「モンゴル帝国」の捕虜となり、後宮に仕えることになった女・ファァーティマは、第2代皇帝・オゴタイの第6夫人で帝国に複雑な思いを抱く女・ドレゲネと出会い…！？大帝国を揺るがす女ふたりのモンゴル後宮譚！（公式を抜粋・転載）



▲公式 HP

13 世紀当時の西～中央アジア世界を舞台に、主人公シタラ（ファァーティマ）が自身の知識と知恵を武器に処世していく物語。アニメ化も決定した注目作です！意外と詳しく知らないモンゴル帝国の歴史がすんなり頭に入ってきます。可愛い絵とのギャップも良き！